

活動報告 vol.11

2026年7月(最終号)

地域おこし協力隊 中心市街地活性化担当

手編み准師範・フィットセラピスト(植物療法士)・臨床検査技師

木原 亮子

てあみらぼ

任期中3回(各回約1か月) 駅南図書館のスペースをお借りし、図書館所蔵の手編み本から作品を選び、実際に制作した作品を貸出本とともに展示を行いました。合わせて手編み講座を開催し、幅広い世代の参加がありました。今年に入ってから、BiVi 藤枝1階のkokokaraにて月に約2回のペースで「てあみらぼ」を開催して多くの方の目に触れていただき、手編みを身近に感じていただくきっかけづくりを行いました。



ハーブ・アロマのワークショップ、ハーブ栽培

駅周辺の店舗やスペースをお借りし、参加者が好みのアロマオイルを選んでブレンドし、スプレーやバーム・バスソルトを作るなどのワークショップを行いました。

ふじえだゼロから農業の制度を活用して、昨年5月から畑を借り、現在約30種類のハーブを農薬不使用で栽培しています。収穫して乾燥させたドライハーブを使って、参加者オリジナルのブレンドティー作りや、オイルに1か月漬けた浸出油を使用したバーム作りなどを行いました。



マルシェ

移住してきた次の年に受講したふじえだ女性ビジネスアカデミー、講座終了後に同期受講者とマルシェを2回開催しました。会場ではアロマスプレー作りや、オリジナルのブレンドハーブティーの試飲を行い、香りや味わいを通じてハーブの魅力に触れていただきました。同期の受講者は、リラクゼーションやこんにゃくの販売、手編み雑貨の販売、写真撮影、ドッグマッサージなど様々な出店があり、当日は多くの方が立ち寄り楽しんでいただく場となりました。



ハーブ栽培を行うための移住先として藤枝市を選び、自分の得意分野である手編みやハーブを通じて、人と人をつなぐ活動ができたと思います。3年前に地域おこし協力隊に着任しました。知り合いが誰もいない地域でしたが、活動を通じて顔見知りが少しずつ増え、徐々に地域に溶け込めてきているかな?と、感じています。

任期終了後も藤枝に住み、これまで築いてきたご縁を大切にしながら、ハーブ栽培を中心にワークショップやてあみ教